

深堀地区ペーロン大会が中止となりました

新型コロナ感染拡大防止の為やむなく、歴史と伝統を誇る「深堀ペーロン大会」が中止と決まりました。かつて、幼児が一番先にリズムを覚えるのが、ペーロン太鼓の拍子とまで言われ、老いも若きも胸弾ませる伝統の行事です。初夏の風物詩の一つが開催できないのは、町民としてとても残念ですが、選手にとっても年間を通して体力づくりをしてきただけに悔しい思いでしょう。

観客としても来年は、例年の何倍もの楽しさを願い、苦渋の決断をされたペーロン関係者の心労をねぎらいたいと思います。



深堀地区コミュニティ協議会総会を開催

四月十六日に、コミュニティ協議会の総会が、ふれあいセンター三階の研修室で開催された。今年も、新型コロナウイルス感染のリスクを避けるため、各地区の自治会長さんには事前に資料を検討して頂き、賛成の委任を頂いての開催となりました。昨年度は、多くの計画した活動が感染対策のもとに開催ができず残念な一年となりました。新年度は、できるだけ屋外での活動を取り入れ、三密を避けた活動計画を作り、総会で承認を戴きました。コミュニティ協議会の活動は、深堀町民全体を対象にして計画立てた運営をする団体です。それぞれの団体では取り組みが難しいことを、町内の多くの団体が、協力し合って実現する為に結成されたのが、深堀地区コミュニティ協議会と理解して頂ければ、わかりやすいと思います。

第一自治会の中尾会長

市政功労表彰を受賞

令和三年四月一日に、長崎ブリックホール国際会議場で長崎市表彰式が執り行われました。永年自治会長として町内の活性化に取り組みられ、その功績から今回の受賞となりました。深堀町内でも一番大きな自治会の運営に尽力され、夏祭りや餅つき大会など、独自の活動を通して町内の融和に努められています。

受賞おめでとう

小学校前、旧婦人会館跡の「連合自治会集会所」で

高齢者サロンを行います。

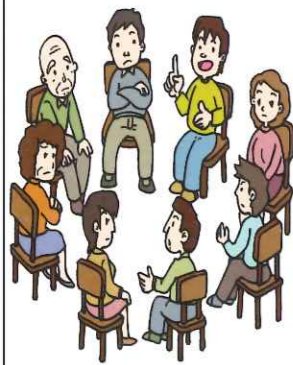
本年四月より第一回目を開催予定でしたが、急激なコロナウイルス感染拡大に伴い、現在の所、開催のめどが立ちません。サロンを手伝って頂くボランティアの皆さんも、快く手を挙げて頂き、現在十名の皆さんがサロンの準備を進め開始を待っています。サロンの利用者も、現在十七名の方が参加して遊びたいと登録済みです。回を重ねるうちに少しずつ参加者も増え、楽しくできればと願っています。サロンの名前も皆さんで決めて頂き「サロンむつみ会」と決めました。あとは状況を見ながら、安全第一に、第一回のスタートを、「待つのみ」。

中学校生徒ペーロン大会の中止が決まりました

今年の大会は、深堀ペーロン大会が中止になった事から、生徒ペーロン大会についても、三密対策を取りながらの開催は、困難との判断で中止となりました。とても残念な事ではありますが、生徒やスタッフの安全が何よりも優先されなくてはならないのはいうまでもありません。

社協深堀支部「ふれあい食事会」について

前年も三回しか行われず、今年こそはと関係者一同、四月からの再開に心燃やしていましたが、無情にも現状を見る限り開催のめどが立ちません。一日も早く再開して皆さんと顔を合わせられることを願うばかりです。感染拡大を受けて外に出る機会が少なくなりますが、家の中でもできるだけ体を動かしてください。皆さんとの再会をお待ちしています。



環境美化活動で「ふれあい広場」と「深堀公園」をボランティアで整備して頂きました。

3月に予定していた活動も、無情の雨に中止となりひと月遅れで開催いたしました。当日はコミュニティ協議会構成団体と地域のボランティア総勢70名で、2時間をかけ清掃活動を行いました。



深堀広場のベンチと塀のペンキ塗り替え、深堀公園の遊具周りの除草に参加者は汗を流しました。ご協力いただいた皆さんのおかげで、気持ちよく利用することができます。有難うございました。

令和三年は見守りと災害時支援の

三年に一度のマップの更新年です。

深堀地区は、各自治会の班ごとに、高齢者でも特に一人暮らしの方を対象に、日常の見守り活動をしています。

また一方では、災害時に一人では避難が困難の方を介助して頂く、災害時支援員を決めています。



深堀地区連合自治会では、三年に一度、見直しをしながら支援マップを作成して体制を整えています。
高齢化が進む中で、お隣同士のちょっとした心遣いが、地域の大きな安心安全につながります。
災害時の支援は、少し体力のある方をお願いするとして、高齢者同士でも普段の安否の確認は、お互いに朝夕の顔を合わせるお隣さんなら、自分達同士で十分です。これからの社会は、お互いに「できる事を、できるときに少しずつ」出し合う仕組みを作ることが必要になるでしょう。

深堀地区防災マップの作製

地域に起こりうる災害を正しく認識するためには、住民が常日頃、どのような災害が自分たちの住んでいる町に起こりうるのかを、よく知っておく必要があります。

そのためには、一人でも多くの住民の皆さんが参加して協議を重ねながら、また一方では専門知識をお持ちの方からのアドバイスも頂きながら、自分たちの手でマップを作ることが一番大事です。

現在は、多くの皆さんが集まって作る時期ではありませんが、状況が整った段階で深堀体育館のような広い場所で、各地区共通の防災マップを、ぜひ一緒に作成したいと思います。

防災マップができれば、各地域で十分に認識を深めて頂くためにも、防災教室など計画して、それぞれの地区で実施して頂ければ有難いです。

地コミ主催の夏休みサマースクールの在り方について

社会教育の一環として、夏休み中の小学生対象に、宿題や苦手な科目の克服を目指すことに加え、学校や家庭で体験できない意外性の体験をさせてやりたいとの思いから始めたものです。

当初の二年は順調でしたが、昨年は新型コロナの渦中であって学習の指導をして頂く、大学生ボランティアの皆さんに協力依頼ができませんでした。

今年こそはとの思いで、企画から運営までを育成協にお願いして準備段階にありますが、新たな感染拡大の中、計画そのものが、三密を避けながら実施できるのかを関係団体模索中でした。

しかし長崎の感染状況を見る限り、短期での好転は望めそうもなく、今年迄は中止せざるを得ません。

今、コスモスの花が満開



大籠の県道沿いに、コスモスの花が満開の見ごろになっています (5月10日現在)

今年も、この花壇には1,600球のチューリップが咲き誇りました。

近隣町の皆さんが、朝夕ウォーキングを楽しまれているのを見て、住民有志が花を植えて皆さん楽しんでいただくとの思いで始まったものです。

今年は、チューリップが咲き終わらない4月の初旬から、コスモスが一齐に咲き誇っています。

これは昨年の種が落ちたものが芽を吹き花を咲かせたもので通る人は「コスモスは秋では・・・」一応に季節外れのコスモス畑に写真を撮っています。

次から次へと花芽を出しながら成長を続けるので、秋本番には大木になるのではと心配しています。

空いたスペースに、また時期をずらして種まきしようと、地元では胸弾ませながら計画中とのことです。

コロナ感染拡大で何もかもが不安な中、季節はずれに咲き誇るコスモスの花に、しばし癒されながら健康の為にもウォーキングがてら出かけてみませんか。



深堀地区ふれあいセンターからお知らせ

昨年は、ふれあいセンターの講座は、計画の半分も開催することができませんでした。

昨年の反省から、今年のふれあいセンター講座は屋外での健康増進のための講座を多く計画しました。城山散策や、八郎岳登山をはじめ、まち歩きも予定しています。行動が制限される今日こそ屋外で健康的に体を動かしてはいかがでしょうか。

開催前には、ふれあいセンターだよりでお知らせします。

地コミAED設置事業

深堀地区コミュニティ協議会では、町内全域の安心安全への取り組みとし、深堀消防団の協力のもと、既存のAED設置場所から遠い地区について整備を進めています。一昨年は、大籠公民館へ設置を行い、今年度で三十八分団一部の消防詰所(永江)と三十八分団二部詰所(山口)の二カ所に設置を予定しています。これではぼ町内どこからでも、約三分程度で現場までの供給ができるのではないかと思います。今後はこれを誰でもが操作できるように、講習に力を入れる必要があります。

梅雨から夏にかけて避難所利用のおさらい

今後大雨や台風など避難所開設が増える時期です。

避難する時はここに注意

- 一、避難所が開設されているか確認。(自治会やふれセン)
 - 二、避難は早めに(食料、水、薬)二三日分位は最低必要
 - 三、避難所は原則毛布を提供しません。(タオルケット等持参)
 - 四、避難する時はお隣さんか民生委員へ一声かけてください。
- 避難所は、できるだけ皆さんの心休まる環境づくりをしています。専用の避難所ではないので不自由もあります。みんなで協力し、より居心地の良い避難所へしましょう。